

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
2年後期	2	2	選択（教職必修）
担当教員			
林 英昭・森下 陽			
添付ファイル			
講義概要			
2次元CADおよび3次元CADの基礎を演習課題を通して学ぶ。自身の設計作品に基づいて、建築CADの一連の操作を体験的に学び、建築の研究や実務に必要な図面の表現力を養う。			
授業計画	1	ガイダンス / AutoCADの使い方（1） 授業概要の説明 / AutoCADの基本操作（1） 【予習】AutoCADのインストール方法を調べておく 【復習】作図の練習 AL①、AL③、AL④	
	2	AutoCADの使い方（2） AutoCADの基本操作（2） 【予復習】作図の練習 AL①、AL③、AL④	
	3	2次元CADの作図（作品A・その1） 作品Aの平面図を作図 【予復習】作図の練習 AL①、AL③、AL④	
	4	2次元CADの作図（作品A・その2） 作品Aの断面図・立面図を作図 【予復習】作図の練習 AL①、AL③、AL④	
	5	2次元CADの作図（作品A・その3） 作品Aのプレゼンボードの作成 【予復習】作図の練習 AL①、AL③、AL④	
	6	2次元CADの作図（作品B・その1） 作品Bの平面図を作図 【予復習】作図の練習 AL①、AL③、AL④	
	7	2次元CADの作図（作品B・その2） 作品Bの断面図・立面図を作図 【予復習】作図の練習 AL①、AL③、AL④	
	8	2次元CADの作図（作品B・その3） 作品Bのプレゼンボードの作成 【予復習】作図の練習 AL①、AL③、AL④	
	9	3次元モデル（その1） モデリング操作の基礎 【予復習】作図の練習 AL①、AL③、AL④	
	10	3次元モデル（その2） 自作の3次元モデル化 【予復習】作図の練習 AL①、AL③、AL④	
	11	3次元モデル（その3） マテリアル設定 【予復習】作図の練習 AL①、AL③、AL④	
	12	3次元モデル（その4） 照明・カメラ設定・仕上げ 【予復習】作図の練習 AL①、AL③、AL④	
	13	プレゼンボードの作成（その1） 画像加工・背景・添景の挿入 【予復習】作図の練習 AL①、AL③、AL④	
	14	プレゼンボードの作成（その2） レイアウト・配色の基本 【予復習】作図の練習 AL①、AL③、AL④	
	15	プレゼンボードの作成（その3） 各自のプレゼンボードの仕上げ 【予復習】作図の練習 AL①、AL③、AL④	

授業形態	授業中にAutoCADを使用して建築図面を製図する。 毎回小課題を課し、その作図を通じて、AutoCADの操作に習熟する。 アクティブラーニング：①:15 回、②:0 回、③:15 回、④:15 回、⑤:0 回、⑥:0 回
達成目標	1. 建築CADの基本的な操作を行うことができる（基礎） 2. 建築CADを使用して正しく基本的な2次元図面を出力できる（標準） 3. 建築CADを使用して正しく基本的な3次元図面を出力できる（応用） 4. 各自の構想を2次元・3次元で図面表現することができる（応用）
評価方法・フィードバック	各課題の提出物についてそれぞれ理解度および達成度を評価し、それら各課題の評価の合算によって最終評価を行う。 ただし、ひとつでも未提出の課題がある場合は評価を「不可」とする。提出後の課題返却時にフィードバックを行う。
評価基準	総合点が100点満点で60点以上の者に単位を与える。 秀（1～4）：90点以上 優（1～3）：89～80点 良（1～2）：79～70点 可（1）：69～60点 不可：59点以下 ただし、カッコ()内は、達成目標の項目を示す。
教科書・参考書	教科書：（特に無し） 参考書：佐藤健司著『AutoCADで身につける建築2D・3D製図』学芸出版社、2021年
履修条件	建築製図の基本知識が必要である。
履修上の注意	AutoCAD学生版（無償）を各自のパソコンへインストールして使用する インストールの指示など授業前に告知するので履修希望者は注視すること
準備学習と課題の内容	「図学」における手描きによる建築製図の基礎を復習しておくこと。 自身のこれまでの設計作品に基づいて、AutoCADを使用して建築図面を製図する。 毎回小課題を課し、その課題制作を通じて、AutoCADの操作に習熟する。
ディプロマポリシーとの関連割合（必須）	知識・理解:40%、思考・判断:10%、関心・意欲:20%、態度:10%、技能・表現:20%
DP1 知識・理解	
DP2 思考判断	
DP3 関心意欲	
DP4 態度	
DP5 技能・表現	